

原木需給情報システム開発事業関連海外情報

No. 15, 26 August 2013



1. 台湾は短伐期林造林を推進

行政院農業委員会は今年、現行の休耕農地の活性化、国内木材自給率の向上、国内産業発展の促進を図るため、平地休耕農地を活用した短伐期造林の推進政策を打ち出した。

6～8年の短伐期林の第1期計画の造林面積は、5,000haとし、造林樹種を次のとおり指定している。

キノコ産業向け：タイワンアカシア (*Acacia confusa*)、タイワンフウ (*Liquidambar formosana*)、ホルトノキ (*Elaeocarpus sylvestris*)、アブラギリ (*Aleurites montana*)

パルプ産業、合板産業向け：ユーカリ (*Eucalyptus globulus*)

短伐期造林をしようとする農家は、所在の縣市行政に申請書を提出する必要がある。利用しようとする休耕地は、審査を経て短伐期の造林推進地区として認定される。以下の申請要件に満たず造林に対し、行政は、最大9万台湾ドル/haで6～8年(請負耕作契約書の年限による)の休耕補助を与える。なお、短伐期林を伐採した収入は農家の所有に帰し、その売価は契約双方の協議の上、決定する。

- ・一申請あたりの土地面積は0.5ha及び以上であること
- ・申請者(造林者、木材供給者)、需用者(木材利用の企業)は請負造林契約書を締結しなければならないこと

2. 台湾におけるユーカリ単板利用の増加へ

台湾合板の製造原材料は、1950年代にフィリピンのラワン丸太を使用し、その後インドネシア、マレーシアのラワン丸太、1990年代にニュージーランドのラジアタパイン丸太へシフトしてきた。

台湾合板の製造業者は、このような原材料利用の変化の中で、丸太生産国の木材工業の発展に伴った丸太の輸出減及び調達コストの上昇などを受けて、丸太の輸入から単板の輸入へのシフト、原材料輸送コストの削減努力、製造工程の合理化、人件費の削減に必死に取り組んできた。

こうした取り組みの中で、台湾合板の製造業者は、2008年から供給不足のマレーシア産ラワン単板の代替材としてユーカリ単板を合板、ブロックボードのコア材として利用し始めた。

ユーカリ単板の調達先は、南中国の広西チワン族自治区及びベトナムである。仕入の単板の製造工場の全ては、台湾メーカーにより現地設立の工場である。

現在、マレーシアから輸入した熱帯広葉樹のコア単板 1.5mm×4 フィート×8 フィートは、約 370～380 米ドル/m³であるが、広西、ベトナムから輸入した 1.6～1.7mm×4 フィート×8 フィートは、約 280～305 米ドル/m³である。ユーカリのコア単板のシェアは現在約 15%であるが、今後高まるとみられる。

3. 台湾の今年1～5月の主要木材製品の輸入状況

(1) 原木

今年1～5月の原木輸入量は、305,539 m³にのぼり、前年同期に比べ約3.1万 m³多く、11.4%増加している。仕入先別にみると、マレーシア、日本、ニュージーランドからの輸入量は増加している。

台湾の今年1～5月の原木輸入量

仕入先国	2013年 1～5月		2012年 1～5月
	輸入量 (m ³)	前年同期比 (%)	輸入量 (m ³)
マレーシア	188,476	19.9	157,225
日本	32,552	37.6	23,659
ニュージーランド	31,059	33.3	23,296
PNG	3,904	-83.3	23,337
ミャンマー	10,896	-32.7	16,201
その他	38,652	26.1	30,662
合計	305,539	11.4	274,380

(2) 製材品

今年1～5月の製材品輸入量は、前年同期とほぼ同様である。仕入先別にみると、カナダからの輸入は約6万 m³減少している。一方、米国、ニュージーランド、オーストラリアからの輸入は、それぞれ約1.5万 m³、1.9万 m³、1万 m³増加している。

台湾の今年1～5月の製材品輸入量 (主要仕入国別)

仕入先国	2013年 1～5月		2012年 1～5月
	輸入量 (m ³)	前年同期比 (%)	輸入量 (m ³)
カナダ	139,700	-29.9	199,415
米国	103,955	18.0	88,075
マレーシア	70,367	-2.4	72,088
ニュージーランド	48,349	64.0	29,479
オーストラリア	25,080	62.5	15,436

(3) 合板

今年1～5月の合板輸入量は、約28万m³にのぼり、前年同期に比べ約2.4万m³多く、9.5%増加している。仕入先別にみると、マレーシア、中国からの合板輸入は伸びており、インドネシアからは減少している。

なお、合板の輸入量に含まれるLVL製品の輸入量は約3万m³で前年同期とほぼ同量である。

台湾の今年1～5月の合板輸入量

仕入先国	2013年1～5月		2012年1～5月
	輸入量 (m ³)	前年同期比 (%)	輸入量 (m ³)
マレーシア	139,274	19.1	116,983
中国	108,529	5.9	102,494
インドネシア	28,092	-5.8	29,830
その他	4,068	-37.2	6,477
合計	279,963	9.5	255,784

(4) ランバーコア

今年1～5月のランバーコアの輸入量は、162,341m³にのぼり、前年同期に比べて約3.3万m³多く、25.6%増加している。

ランバーコアは、台湾合板業界の一次加工業者の主要産品であり、ブロックボード製造、内装、家具造作に使われている。ランバーコアは供給過剰に陥っているため、同業者の競争は激しくなっている。

台湾の今年1～5月のランバーコア輸入量

仕入先国	2013年1～5月		2012年1～5月
	輸入量 (m ³)	前年同期比 (%)	輸入量 (m ³)
インドネシア	146,693	26.6	115,886
マレーシア	10,050	8.0	9,307
フィリピン	2,946	103.5	1,448
その他	2,652	3.6	2,560
合計	162,341	25.6	129,201

(5) ブロックボード

今年1～5月のブロックボードの輸入量は4,800m³で、前年同期(3,510m³)に比べ若干増加している。輸入のブロックボードの大半は中国からであるが、中国国内の売価が台湾市場より高いため、台湾への輸出意欲は低いである。現

在中国からのブロックボードの大半は、台湾業者が福建省で生産したものである。

(6) 単板

今年1～5月の単板輸入量は、113,582 m³にのぼり、前年同期比19.5%増加している。仕入先別にみると、マレーシアからは最も多く、7万m³である。中国、インドネシア、ニュージーランドからはいずれも1.2万m³台である。

台湾の今年1～5月の単板輸入量

仕入先国	2013年 1～5月		2012年 1～5月
	輸入量 (m ³)	前年同期比 (%)	輸入量 (m ³)
マレーシア	70,021	18.5	59,114
中国	12,780	0.9	12,661
インドネシア	12,524	103.9	6,143
ニュージーランド	12,121	83.4	6,609
その他	6,136	-41.6	10,500
合計	113,582	19.5	95,027

(7) パーティクルボード

今年1～5月のパーティクルボード輸入量は、前年同期並みである。仕入先別にみると、タイからの輸入は最多で、約4.8万m³である。

台湾の今年1～5月のパーティクルボード輸入量

仕入先国	2013年 1～5月		2012年 1～5月
	輸入量 (m ³)	前年同期比 (%)	輸入量 (m ³)
タイ	47,906	15.5	41,469
スペイン	13,712	3.9	13,194
ポルトガル	10,907	-35.6	16,942
ルーマニア	10,415		0
オーストラリア	7,134	-47.5	13,599
カナダ	3,493	-44.2	6,257
その他	13,116	-5.0	13,801
合計	106,683	1.3	105,262

(8) 繊維板

今年1～5月の繊維板輸入量は、前年同期並みである。仕入先別にみると、タイからの輸入は最多で、約半分を占める3.3万m³にのぼる。

台湾の今年1～5月の繊維板輸入量

仕入先国	2013年 1～5月		2012年 1～5月
	輸入量 (m ³)	前年同期比 (%)	輸入量 (m ³)
タイ	33,383	7.6	31,025
マレーシア	9,420	62.9	5,782
中国	6,606	0.2	6,591
インドネシア	3,816	32.3	2,885
ニュージーランド	3,643	47.5	2,469
韓国	1,696	-26.9	2,320
その他	4,392	-55.7	9,918
合計	62,956	3.2	60,990

(海外レポートに基づき抜粋・編集)